

【基本施策5】「みる」「支える」スポーツの推進

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
36	トップアスリートを招へいしたスポーツイベントやスポーツ教室の開催		
事業概要	トップアスリートを招へいしたスポーツイベントを実施し、スポーツへの関心やきっかけづくりとする。		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (28年度末現在)	A: 計画目標を上回って達成した
28年度実績等	①めぐろスポーツまつり ・野球教室(東京ヤクルトスワローズOB)、硬式テニス(神尾米さん)、ソフトテニス(豊島楓さん) ②オリンピック・パラリンピック気運醸成事業 駒場体育館 ・オリンピック、競泳 末永雄太さん ・パラリンピック、競泳 小野智華子さん 中央体育館・めぐろスポーツまつり ・かけっこ教室(エリックワイナイナさん) ③指定管理者事業 ・駒場体育館 (2016パラリンピックカヌーコーチ 西明美さん) ・区民センター体育館 オリンピアン(競泳 星奈津美さん) 全日本出場選手(ソフトテニス 山口大地さん) 日本代表選手(新体操 東川歩未さん) ・中央体育館 オリンピアン(バスケットボール 結城昭二さん) ・宮前公園庭球場 元プロテニスプレーヤー(赤羽毅朗さん)、八雲体育館 フリーグフットサル(横江怜さん)		
評価の理由	・トップアスリート、オリンピック・パラリンピアンへの技術や競技に対する姿勢に触れ合うことで、スポーツへの関心やきっかけ作り、大いに寄与した。また、東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成にも貢献した。		
課題など	・区民が興味関心を引くトップアスリートを招聘するにあたっての費用捻出が課題であるが、区民のスポーツへの関心やきっかけ作り、また東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への気運醸成のためにも、今後も招聘については検討していく。		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
37	スポーツ表彰		
事業概要	スポーツを通じて優秀な成績を収めた区民及び団体を表彰し、その功績を称えることにより、区民にスポーツを奨励する。また出場した大会等の情報をホームページに掲載する。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (28年度末現在)	B 計画目標を達成した
28年度実績等	オリンピック・パラリンピック 個人 4人 国際大会 個人 2人 全国大会 個人12人、団体 1団体 関東大会 個人 1人、団体 2団体 東京都大会 個人 2人、団体 2団体		
評価の理由	28年度は、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックが開催され、目黒区から4選手が出場し、入賞の成績を収めたことに加え、区内の学校長・学長、スポーツ情報紙(めぐろスポーツニュース)及びホームページにより被表彰候補者の自薦・他薦を呼びかけたため、例年より多くの区民及び団体にスポーツ表彰を贈呈することができた。		
課題など	表彰対象の各国内大会(全国大会・関東大会・東京都大会)成績は優勝のみとしているが、NPO法人目黒体育協会から「全国大会の成績については、1～3位までを対象にしてほしい。」との要望が出ている。		

		所属名	教育政策課
事業No.	事業名		
38	児童・生徒表彰		
事業概要	様々な活動の場において優れた活動のあった児童・生徒を応援するため、表彰を行う。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (28年度末現在)	B 計画目標を達成した
28年度実績等	団体 東山中学校陸上部女子 個人 スポーツ関連49人		
評価の理由	27年度から表彰式の会場を教育委員会室から大会議室に変更し、被表彰者の増加に対応した。		
課題など	活動の場の多様化等に伴う表彰基準の見直し		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
39	障害者のある人とない人がともに行うスポーツ事業の実施		
事業概要	障害のある人とない人がともに行うスポーツ活動の機会を提供する。		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (28年度末現在)	B 計画目標を達成した
28年度実績等	①西部地区プール 5日 78人 ②指定管理業務 駒場体育館 ・ふれあい水中運動 14日 77人 ・みんなでダンス 1日 39人 ・ふれあい広場 3日 55人 区民センター体育館 ・ふれあいスポーツ教室(体育室) 1日 8人 ふれあいスポーツフェスティバル(体育室) 1日 36人 中央体育館 ・ふれあいスポーツ広場 11日 127人 ・のびのびふれあいスポーツ教室 8日 49人 八雲体育館 ・チャレンジふれあいスポーツ教室 6日 66人 ・親子で楽しむ!ふれあい体操 4日 56人 砧野球場・サッカー場 ・砧ふれあいスポーツ教室 1日 ※台風によりグラウンド使用が出来ず中止 ・砧ふれあいスポーツ広場 1日 ※台風によりグラウンド使用が出来ず中止		
評価の理由	・障害のある人とない人が協力しあいながら、安定して事業が実施されている。また、障害のある子どもだけでなく運動が苦手な子どもも対象とした教室事業を実施し、子ども同士で触れ合う機会を設定するなど、各体育館で工夫をこらして事業を運営している。		
課題など	・より多くの人に参加してもらい、スポーツを通じて障害のある人とない人とのコミュニケーションの機会の場を提供できるよう、区関係部局などとも協力しながら、実施方法や周知の仕方について、継続して検討していく。		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
40	トップアスリートを招へいしたスポーツイベントやスポーツ教室の開催 〈再掲 事業番号36〉		
事業概要	トップアスリートを招へいしたスポーツイベントを実施し、スポーツへの関心やきっかけづくりとする。		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (28年度末現在)	A: 計画目標を上回って達成した
28年度実績等	①めぐろスポーツまつり ・野球教室(東京ヤクルトスワローズOB)、硬式テニス(神尾米さん)、ソフトテニス(豊島楓さん) ②オリンピック・パラリンピック気運醸成事業 駒場体育館 ・オリンピック、競泳 末永雄太さん ・パラリンピアン、競泳 小野智華子さん 中央体育館・めぐろスポーツまつり ・かけっこ教室(エリックワイナイナさん) ③指定管理者事業 ・駒場体育館 (2016パラリンピックカヌーコーチ 西明美さん) ・区民センター体育館 オリンピアン(競泳 星奈津美さん) 全日本出場選手(ソフトテニス 山口大地さん) 日本代表選手(こども新体操 東川歩未) ・中央体育館 オリンピアン(バスケットボール 結城昭二さん) ・宮前公園庭球場 元プロテニスプレーヤー(赤羽毅朗さん)、八雲体育館Fリーグフットサル(横江怜さん)		
評価の理由	・トップアスリート、オリンピック・パラリンピアン等の技術や競技に対する姿勢に触れ合うことで、スポーツへの関心やきっかけ作り、大いに寄与した。また、東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成にも貢献した。		
課題など	・区民が興味関心を引くトップアスリートを招聘するにあたっての費用捻出が課題であるが、区民のスポーツへの関心やきっかけ作り、また東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への気運醸成のためにも、今後も招聘については検討していく。		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
41	障がい者スポーツ指導員(初級)取得者の活用		
事業概要	障がい者スポーツ指導員養成講習会修了者を対象に、障がい者スポーツ指導者として活動ができるよう、環境を整備する。		
計画目標	新規	目標に対する評価 (28年度末現在)	A: 計画目標を上回って達成した
28年度実績等	平成28年度目黒区スポーツボランティア登録者数: 3人		
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年8月に「目黒区スポーツボランティアに関する要領」を策定。 平成28年障がい者スポーツ指導員(初級)養成講習会修了者に対し同要領を配布し、指導者として活動できる機会の提供を行った。 		
課題など	・スポーツボランティアについては、登録者が少ない状況であり、また有効に活用ができていない状況であるため、障がい者スポーツ指導員養成講習会等終了者及び指定管理者への周知等について、検討していく必要がある。		

		所属名	文化・交流課
事業No.	事業名		
42	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えたボランティアの育成		
事業概要	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据えた、目黒区の魅力発しのための研修会や講座等を開催し、ボランティアの育成を図るとともに、活躍できる環境づくりに努める。		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (28年度末現在)	B:計画目標を達成した
28年度 実績等	<p>①目黒区国際交流協会によるボランティアの取組 ボランティア講座(年2回実施) 参加人数計:109名 内容:ディスカッション「外国人と日本人の助け合い」、ボランティア説明会 外国人おもてなし語学ボランティア養成講座(年5回実施) 参加人数:32名 内容:外国人とのコミュニケーションに関する基礎知識などを学ぶ</p> <p>②防災語学ボランティア 登録者数:80人 登録言語数13か国語 内容:地震などの災害が発生したときに、日本語の分からない外国人区民等を支援する防災語学ボランティア制度</p> <p>③まち歩きボランティアガイドを対象とした研修会・講座(年3回実施) 参加人数計:72名 内容:ボランティア活動の原則等の座学講習、実地研修等</p> <p>④観光講座(年4回実施) 参加人数計:134名 コース・講座内容:「目黒と歌舞伎part2」「洗足・大岡山」「山手七福神巡り」等 ※平成28年10月からは、一般社団法人めぐろ観光まちづくり協会が引き続いて事業を行っている。</p>		
評価の理由	<p>・目黒区国際交流協会のボランティア事業により、国際理解や外国人支援に関する講座を通して、外国人住民との交流に意欲的なボランティアを募り、また、街中で困っている外国人を見かけた際に簡単な外国語で積極的に声をかけ、道案内等の手助けをするボランティアの養成(おもてなし講座)を行った。</p> <p>・文化・交流課では、地震などの災害が発生したときに、日本語の分からない外国人区民等を支援するボランティア登録制度を充実させた。</p> <p>・観光資源の掘り起こしにより、「人々の触れ合いとにぎわいと活力のあるまち」の実現を図ることを目的とし、めぐろ観光まちづくり協会において、まち歩きボランティアガイドの育成や観光講座を実施してきた。</p>		
課題など	<p>・今後の区を訪れる外国人が増加することや、多様な言語を用いた紹介等も求められることから、上記ボランティア講座や登録制度の充実などを行う必要がある。</p> <p>・平成28年10月に一般社団法人化しためぐろ観光まちづくり協会において、「観光講座」や「ボランティアガイドの育成」について、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据えた内容の充実を検討する必要がある。</p>		